

学校 番号	50	学校名	下諏訪向陽高等学校
----------	----	-----	-----------

令和2年度第2回学校評議員会報告

【令和 2年 10月 23日（金）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

学校評議員4名参加（3名は都合で欠席）、PTA会長1名、職員11名で開催した。
 14：35～15：25 6時間目授業参観
 15：40～16：35 向陽ふれあいトーク
 生徒（10名）・学校評議員・PTA会長、職員の四者で意見交流会
 16：35～17：05 学校評議員会（生徒退出後に実施した）

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・資料は2回にわたって事前に配付し、目を通していただいた。
- ・生徒の活動を見てもらうため、学校評議員会の日程に生徒との意見交流会「向陽ふれあいトーク」を重ねた。生徒は3年3名、2年4名、1年3名、計10名に参加してもらい、現在感じていることや学校での活動の様子などを発表した。生徒は前日から準備してそれぞれの思いを精一杯語り、学校評議員からも良い評価を得た。
- ・5・6時間目を授業公開とし、コロナ対策として事前に一報をいただいてから、日常の授業の様子を参観してもらう機会を設けた。ある母親からは自分が受けた講義型授業ではない対話型の授業に驚き、楽しく学べてうらやましいという感想を得た。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・「向陽ふれあいトーク」では、最初に3年生から生徒会活動(特に向陽祭やクラスマッチの代替大会について)を通しての学びについて、続いて1年生から本校に入学して現在思う事、最後に2年生から引き継いだ生徒会活動についての夢を話してもらい、それぞれについて学校評議員から質問や意見・感想をいただいた。
- ・生徒は学校の良さをよく認識しており、物怖じせず話すことができると、個々の成長を認めていただいた。
- ・ふれあいトークの生徒の様子に感動したと言っていた。「夕方になれば明日も来たいと思える学校、時々振り返ってみて来てよかったと思える学校を自分たちの手で作りたい。」という生徒の言葉に、評議員から応援したいと言っていた。
- ・評議員それぞれから本校や本校生徒に期待することを温かい励ましの言葉とともに出してもらった。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・学校評議員・PTA・生徒・職員が一堂に会し意見交換できたことは大きな成果である。
- ・新旧の生徒自治会役員10名との意見交換ではあったが、生徒の様々な活動の様子や高校生の意識を知ってもらう好機となり、評議員に本校の現状と課題を把握し、アドバイスをいただくために有意義な会議となった。
- ・学校から積極的に情報を発信していきたい。